

工事監理状況報告書(鉄筋コンクリート造)

完了検査

令和 年 月 日

(あて先) 建築主事

確認済証番号	令和 年 月 日 第 号	確認機関名
" (変更)	令和 年 月 日 第 号	確認機関名
工事場所	建築主氏名	

上記、建築物の工事監理状況について、建築基準法第12条第5項の規定により次のとおり報告します。

報告者	工事監理者	会社住所
		会社名
		報告者氏名

確認事項	確認を行う照合内容	工事監理者 確認結果 ※1	※2 検査員 記録	
			A:目視検査 B:計測検査 C:監理者報告	結果
1 確認表示板(法89)	1 建築確認表示板の設置	適:不	A	適:不適
2 敷地の衛生及び安全性(法19)	1 がいけ・擁壁の安全性、敷地の衛生及び安全	適:不	A:B:C	適:不適
3 敷地と道路の関係 (法40 42 43)	1 道路の幅員	適:不	A:B:C	適:不適
	2 道路に接する敷地の長さ	適:不	A:B:C	適:不適
	3 敷地内通路、専用通路の幅及び長さ	適:不	A:B:C	適:不適
	4 2項道路の後退	適:不	A:B:C	適:不適
4 敷地形状、容積率、建ぺい率 (法52~54)	1 敷地形状及び高低差	適:不	A:B:C	適:不適
	2 基礎形状(建物形状)	適:不	A:B:C	適:不適
	3 建物配置(道路、隣地からの離れ)	適:不	A:B:C	適:不適
5 道路斜線 (法56)	1 建築確認図書の立面図との照合	適:不	A:B:C	適:不適
	2 道路、隣地、北側敷地境界線からの後退距離の確認	適:不	A:B:C	適:不適
6 設備 (令129の2の4~7等)	1 浄化槽の仕様・処理能力	適:不	A:B:C	適:不適
	2 配管・配線の種類・形状・寸法・設置状況等	適:不	A:B:C	適:不適
	3 給排水設備の種類・形状・寸法・設置状況等	適:不	A:B:C	適:不適
	4 ガス設備の形状・寸法・規格・性能等	適:不	A:B:C	適:不適
7 外装仕上げ(法22、23、24、62、63)	1 屋根・外壁・軒裏材の仕上げ	適:不	A:B:C	適:不適
8 耐火、準耐火建築物(法2)	1 主要構造部の仕様	適:不	A:B:C	適:不適
9 外壁開口部の防火戸等(法2、64)	1 網入りガラス、シャッター、FD等	適:不	A:B:C	適:不適
10 特殊建築物等の内装(法35の2)	1 壁・天井の仕上げ	適:不	A:B:C	適:不適
11 居室の採光・換気(法28)	1 間取り	適:不	A:B:C	適:不適
	2 外壁の開口部の大きさ、機械換気設備の仕様	適:不	A:B:C	適:不適
12 階段及び踊場(令23~26)	1 幅・蹴上げ・踏面の寸法、手摺	適:不	A:B:C	適:不適
13 特殊建築物等の避難(法35)	1 避難施設(下記項目を除く)	適:不	A:B:C	適:不適
	2 排煙設備(令126の2、126の3)	適:不	A:B:C	適:不適
	3 非常用の照明装置(令126の4、126の5)	適:不	A:B:C	適:不適
	4 非常用進入口(令126の6、126の7)	適:不	A:B:C	適:不適
	5 敷地内通路(令128)	適:不	A:B:C	適:不適
14 防火区画等	1 界壁(令22の3 令114)	適:不	A:B:C	適:不適
	2 防火区画(令112)	適:不	A:B:C	適:不適
	3 避雷設備(法33) 20mを超える建築物	適:不	A:B:C	適:不適
15 シックハウス対策 (法28の2、令20の5)	1 クロレヒノスの使用禁止	適:不	A:B:C	適:不適
	2 内装下地材の種別	適:不	A:B:C	適:不適
	3 接着剤の種別	適:不	A:B:C	適:不適
	4 内装仕上げ材の種別	適:不	A:B:C	適:不適
	5 塗料の種別	適:不	A:B:C	適:不適
	6 建具・造り付家具の種類	適:不	A:B:C	適:不適

確認事項	確認を行う照合内容	工事監理者 確認結果 ※1	※2 検査員 記録		
			A: 目視検査	結果	
			B: 計測検査		
			C: 監理者報告		
16 シックハウス対策 (法28の2、令20の5)	7 換気区画・換気ルート	適：不	A：B：C	適：不適	
	8 換気設備機器の性能(換気風量)	適：不	A：B：C	適：不適	
	9 天井裏等の下地材	適：不	A：B：C	適：不適	
	10 気密層・通気止め	適：不	A：B：C	適：不適	
17 基礎・地盤(令38、79、告示1347) (令77、78、79) (令73、告示1463) (令73、告示1463) (令72、74、告示1102) (令76、告示110)	1 設計図書通りの地耐力が得られたか 確認方法(適：不	A：B：C	適：不適	
	2 地耐力が得られなかった場合の措置について 措置の内容(適：不	A：B：C	適：不適	
	3 杭種・工法・打設結果の確認	適：不	A：B：C	適：不適	
	4 径、長さ、本数	適：不	A：B：C	適：不適	
	5 杭偏芯の有無・処理(基礎・梁の補強)	適：不	A：B：C	適：不適	
	6 杭頭処理	適：不	A：B：C	適：不適	
	7 主筋・あばら筋等の本数、径及び間隔、かぶり厚	適：不	A：B：C	適：不適	
	8 主筋の定着	適：不	A：B：C	適：不適	
	9 継手の位置	適：不	A：B：C	適：不適	
	10 梁貫通補強	適：不	A：B：C	適：不適	
	11 コンクリートの品質・規格	適：不	A：B：C	適：不適	
	12 型わく及び支柱の除去	適：不	A：B：C	適：不適	
	13 基礎出来形(各部材の形状、寸法の確認)	適：不	A：B：C	適：不適	
18 基礎・上部共通	1 配筋仕様の別 大臣官房 JASS その他 ()	適：不	A：B：C	適：不適	
	2 鉄筋の品質・規格(ミルシートの確認)	適：不	A：B：C	適：不適	
	3 継手の接合方法 ()	適：不	A：B：C	適：不適	
	4 継手試験方法・結果 抜取り 超音波探傷	適：不	A：B：C	適：不適	
19 上部構造	全体 (令73、79)	1 鉄筋の乱れ、踏み荒らし、波打ち、たるみの有無	適：不	A：C	適：不適
		2 柱、梁、耐力壁、スラブの配置	適：不	A：C	適：不適
		3 かぶり厚さの状況	適：不	A：B：C	適：不適
		4 型枠中の清掃状況(木片、その他のゴミ)	適：不	A：C	適：不適
	柱(令77)	5 主筋本数、径、配置方向(次階の主筋を含む)	適：不	A：B：C	適：不適
		6 各階止まり柱頭主筋の止まり高さとの定着状況	適：不	A：B：C	適：不適
		7 柱仕口部分の帯筋の径、間隔	適：不	A：B：C	適：不適
		8 第一帯筋の位置と柱頭拘束帯筋の有無	適：不	A：B：C	適：不適
	梁(令78)	9 主筋、あばら筋、腹筋、幅止め筋の状況	適：不	A：B：C	適：不適
		10 主筋の定着方法、長さ	適：不	A：B：C	適：不適
		11 中吊り筋の位置	適：不	A：B：C	適：不適
		12 継手の位置、長さ(重ね継手の場合)	適：不	A：B：C	適：不適
		13 片持ち梁の主筋の位置と定着	適：不	A：B：C	適：不適
		14 貫通孔の位置、補強方法	適：不	A：B：C	適：不適
		15 ハンチ部分のあばら筋補強	適：不	A：B：C	適：不適
	スラブ	16 主筋方向、径、間隔、スラブ厚	適：不	A：B：C	適：不適
		17 定着方法、長さ	適：不	A：B：C	適：不適
		18 継手の位置、長さ	適：不	A：B：C	適：不適
		19 片持ちスラブの定着と上端筋位置	適：不	A：B：C	適：不適
		20 隅部、開口部、設備配管に対する補強	適：不	A：B：C	適：不適
壁	21 縦筋の定着方法、長さ	適：不	A：B：C	適：不適	
	22 壁交差部の縦筋補強	適：不	A：B：C	適：不適	
19 上部構造	全体	23 スリットの位置、施工状況	適：不	A：B：C	適：不適
	その他	24 設備配管(CD管等)の配置	適：不	A：B：C	適：不適

確認事項	確認を行う照合内容	工事監理者 確認結果 ※1	※2 検査員 記録	
			A:目視検査	結果
			B:計測検査	
			C:監理者報告	
20 その他 ※3		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適

※4 指示内容	

検査に必要な図書	確認関係図書	■ 確認図書 ■ 告示第1347号による基礎構造図
	使用材料の品質を示す書類	■ コンクリート圧縮強度試験結果 ■ コンクリートの品質(スランプ、空気量、塩化物) ■ 鉄筋ミルシート ■ 使用材料品質証明書 □ シックハウスに係る内装仕上げ材料等の写真
	工事監理報告関係	■ 配筋検査記録・写真 □ 自主検査報告書 □ 施工要領書 □ コンクリート工事施工結果報告書
	検査結果報告書	■ 杭工事施工結果報告書
	※5 その他	■ 認定・評定書の写し ■ 工事写真 □ その他

- ※1 確認項目を現場でチェックし、適合は「適」に○印、不適合は「不」に○印を記入して下さい。(該当しない項目は記入しないでください)
- ※2 太線枠内は記入しないで下さい。
- ※3 確認事項の項目にないものは、「その他」の欄に記入してください。例として、増築等で既存改修がある場合には「その他」に記載します。
- ※4 確認結果で不適合がある場合は、その項目番号(例:3-1)と現場で指示した内容を、「指示内容」欄に記入してください。
- ※5 検査に必要な図書について、「■」の書類は必ず用意し、「□」は監理状況が確認できれば、それに代わる書類等でも可とします。また、中間検査時にすべて検査が終了している書類については用意しなくてもかまいません。